

VolCam マニュアル



VolCam マニュアル	1
1. インストール	2
2. メインメニューの説明	2
3. 最初の設定	2
4. カメラを追加する	4
5. フレームの操作メニュー	4
6. 標準サイズウィンドウ	5
7. 手動レベル補正	6
8. ファイル管理 (暫定)	7
9. 噴火速報 (暫定)	8






1. インストール

VolCam.zip を解凍し、実行ファイル VolCam.exe を適当なフォルダ内にコピーするだけです。
なお、二重起動が可能で、実行ファイルを複数のフォルダにコピーし、同時に起動することができます。

2. メインメニューの説明




最初のカメラフレームの上部にマウスカーソルを移動すると、メインメニューが表示されます。

-  カメラを追加する
-  ファイルマネージャを開く（暫定：Shift キーを押しながらクリック）
-  オプション画面を開く
-  ここをドラッグしてウィンドウを移動させる
-  VolCam を終了する／Shift キーを押しながらクリックして最小化

3. 最初の設定



起動直後の VolCam ウィンドウの上部にマウスを移動させるとメインメニューが表示されます。

ここで  ボタンをクリックします。

〔基本〕 タブ



〔スクリーン端に吸着する〕

メインメニューのウィンドウ移動ボタンをドラッグするとき、デスクトップの端に近づくとき、メインウィンドウがデスクトップの端に吸着して、位置決めしやすくなります。

〔フレーム色〕

各火山カメラ画像の周囲のフレーム色を指定します。

〔フレーム拡張方向〕ボックスで「横」または「縦」をチェックします。VolCam は最大4カメラまで常時監視でき、それを縮小画面にして縦方向または横方向に拡張して表示します（1ページ目のデスクトップ画面では、デスクトップの右上に「縦」に表示しています）。

〔再生／表示時間〕

再生時に1フレームを表示させる時間を秒単位で指定します。

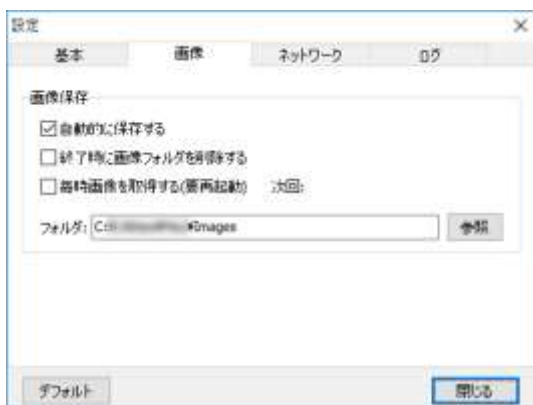
〔スタートアップ〕

スタートアップに登録すると、OS 起動時に VolCam が自動的に起動します。

〔ショートカット〕


デスクトップ上にショートカットを作成します。

〔画像〕 タブ



〔自動的に保存する〕

取得した画像を自動的に保存します。

（暫定：メインメニューの  ボタンを Shift キーを押しながらクリックすると〔ファイル管理〕ウィンドウが表示され保存された画像ファイルにアクセスできます）

〔終了時に画像フォルダを削除する〕

VolCam 終了時に自動保存した画像フォルダを一括削除します。

〔毎時画像を取得する〕

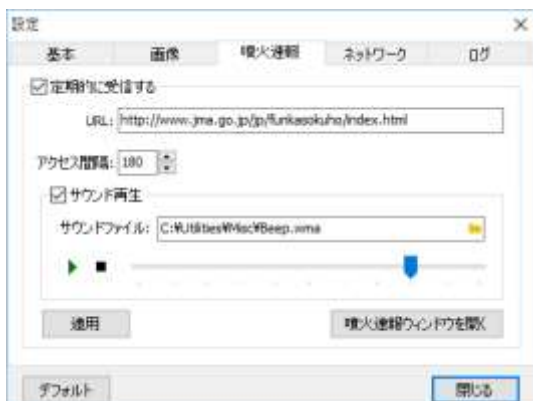
1時間ごとにすべての火山カメラの映像を1枚ずつ取得・保存します。なお、これを有効にするには VolCam を再起動する必要があります。

〔画像保存フォルダ〕

通常は VolCam をインストールしたフォルダ内に「Images」フォルダが作成され、このフォルダに保存されますが、これとは別のフォルダに保存した場合、ここで設定します。

複数の VolCam を起動して、画像保存フォルダを共通にしたい場合などに使います。

〔噴火速報〕 タブ



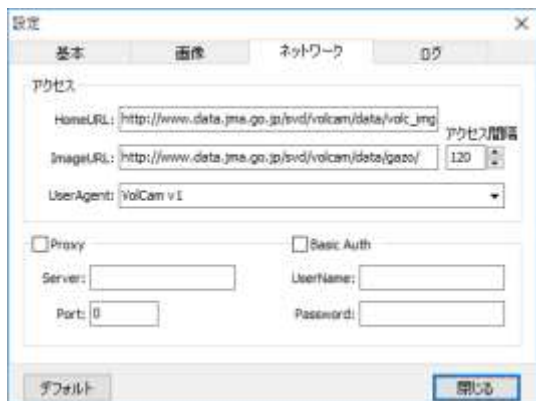
気象庁のサイトに定期的にアクセスして噴火速報を取得します（暫定）。

この機能を有効にするには、〔定期的に受信する〕ボックスをチェックし、〔アクセス間隔〕（秒）を指定して〔適用〕ボタンをクリックします。

なお、受信時にサウンドを再生するときは、〔サウンド再生〕ボックスをチェックします。あらかじめ〔再

生] ボタンを使ってボリュームをチェックしておいてください。

[ネットワーク] タブ



[アクセス] ボックス内の [アクセス間隔] を指定します。デフォルトでは120秒になっています。60秒から360秒の範囲内で指定してください。

Proxy を使用してアクセスする場合、[Proxy] ボックスをチェックし、正しい Server 名および Port 番号を指定します。

さらに Basic 認証を使用して Proxy を使用するときは、[Basic Auth] ボックスをチェックし、正しい Username と Password を指定してください。

Proxy の設定を変更したいときは、VolCam を再起動してください。

4. カメラを追加する



VolCam ウィンドウの上部にマウスを移動させ、メインメニューを表示します。

+ をクリックすると、カメラ選択ダイアログが表示されます。



表示したいカメラを選択して [追加] ボタンをクリックします。画像の取得および表示が始まります。

メインメニューから最大4カメラまで追加できます。

5. フレームの操作メニュー



個々のカメラフレームの下部にマウスを移動すると、フレーム操作メニューが表示されます。

K 最初のフレームに移動する

- ▶ 最後のフレームに移動する
- ◀ 1コマ前に戻る
- ▶ 現在のフレームから再生する
- 再生を中止する
- ▶▶ 1コマ先に進む
- 🖼️ 標準サイズウィンドウを表示する
- ✕ 現在のカメラを削除する

6. 標準サイズウィンドウ



画面上を右クリックでポップアップメニューが表示されます。

〔Explorer を開く〕

現在の画像が保存されているフォルダを表示する

〔自動レベル補正〕

輝度やコントラストを調整して軽いモヤや霧を消す

〔手動でレベル補正する〕

以下参照

〔画像ロック〕

表示された画像を保存／コピーするときや、手動レベル補正をするとき、現在のフレームに留まるようにロックします。

最大180秒間ほどロックされます。この時間を経過すると、ロックが自動解除され、もしこのとき新しい画像が取得されていればそれが表示されます。

通常のロック時には青いアイコンが表示され、残り時間が表示されます。

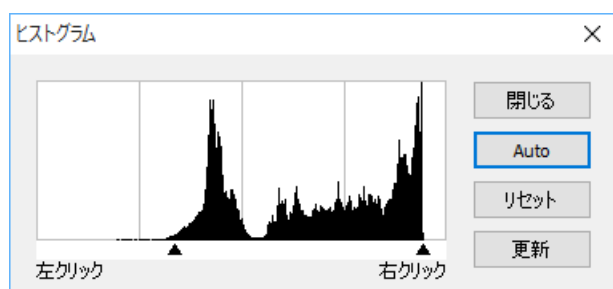


フレームがロック中に画像が更新されると、編集中的画像と、本来表示すべき画像が異なることを示すために、赤いアイコンが表示されます。



時間を経過してロックが自動解除する前にも、[画像ロック] をもう一度クリックして、いつでもロックを解除できます。

7. 手動レベル補正



【ヒストグラム】ウィンドウを使って、手動でレベル補正できます。

【ヒストグラム】ウィンドウでは、画像の各ピクセルの輝度の分布をグラフ表示します。

詳細は「レベル補正」でネット検索してみてください

さい。Photoshop や GIMP などでの設定例が見つかるはずですよ。

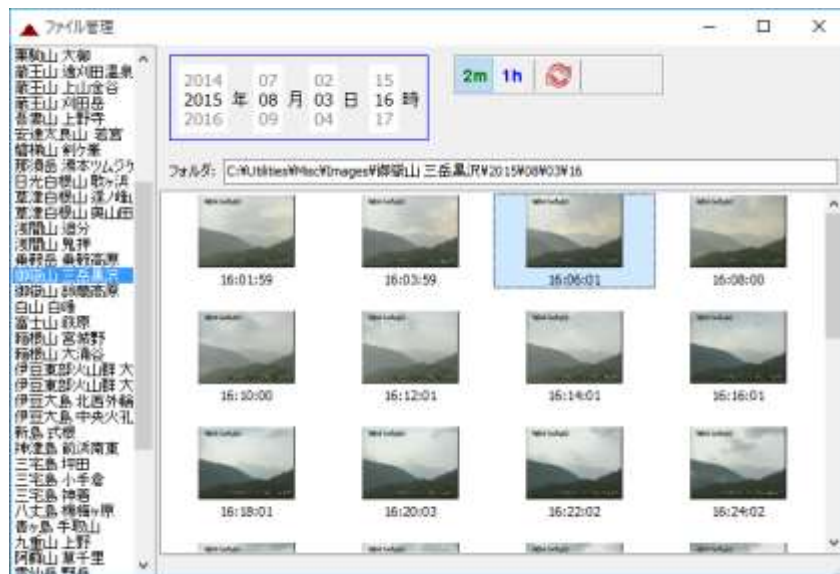
【Auto】 ボタンをクリックすると、下の▲がグラフの「山」を囲むように移動します。【自動レベル補正】と同じ結果になります。

【更新】 ボタンをクリックすると標準サイズウィンドウに結果が表示されます。

【リセット】 ボタンをクリックすると、オリジナル画像に戻ります。

なお下の▲は、左側▲はマウスのクリックで、右側▲は右クリックでクリック位置に移動します。

8. ファイル管理（暫定）



1. 左の火山カメラボックスから表示したい火山カメラを選択します。

2. データタイムピッカーの年月日時にマウスを置いてマウスホイールを上下に動かして表示したい日時を選択します。

3. [2時間ごと画像] または [1時間ごと画像] を選択します

4. [表示更新] ボタンをクリックします。

[このフォルダを削除]

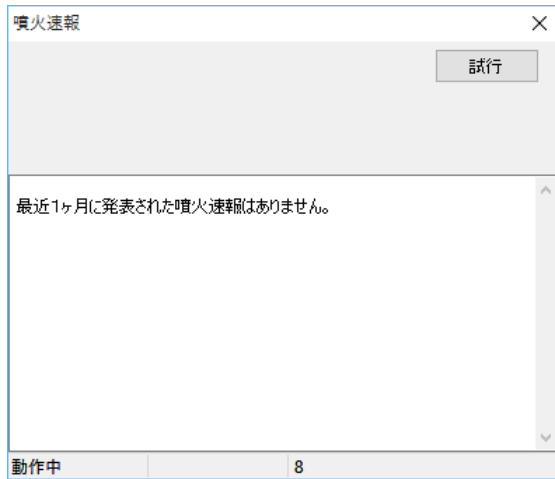
準備中

[この時間以前のファイルを全削除]

準備中

画像を右クリックして、標準サイズの画像を表示します。なお、レベル補正された画像を表示することもできます。

9. 噴火速報（暫定）



【設定】ウィンドウで設定した内容にしたがって気象庁の噴火速報サイトに定期的にアクセスし、噴火速報を取得します。

なお、現時点では一度も噴火速報が発表されていないため、適正に処理できるかどうか不明です。